

⑳ これからの公共施設について 第6回 -取組3 公民連携-

今回は、施設と公民連携について紹介します。

公民連携とは、市と民間事業者が経営力・技術力・資金力を協力して、公共施設の効果を最大限に発揮させる方法をいいます。公民連携は、パブリック・プライベート・パートナーシップを略してPPPといえます。以下の表は、PPP手法の一部です。

事業手法の概要

	公設公営方式 (従来方式)	公設民営方式		民設民営方式			
		長期包括 委託方式	DBO方式 ※1	BT0方式 ※2	BOT方式 ※3	B00方式 ※4	
公共関与度	大						小
資金調達	公共	公共	公共	民間	民間	民間	
設計・建設	公共	公共	民間	民間	民間	民間	
運営	公共	民間	民間	民間	民間	民間	
施設の所有 (運営事業期間中)	公共	公共	公共	公共	民間	民間	
施設の所有 (運営事業終了後)	公共	公共	公共	公共	公共	民間	

 : 役割が民間事業者となるもの

※1 DBO方式: Design(設計して) Build(建設して) Operate(管理運営する)

※2 BT0方式: Build(建設して) Transfer(所有権を移転して) Operate(管理運営する)

※3 BOT方式: Build(建設して) Operate(管理運営して) Transfer(所有権を移転する)

※4 B00方式: Build(建設して) Own(所有して) Operate(管理・運営する)

・笠間市は、愛宕山山頂付近にあるスカイロッジを公民連携(B00方式)により、本年度リノベーションしました。今後、施設の運営経費は民間事業者が負担し最適なサービスを提供しながら施設の運営をしていきます。

・水戸市も、新清掃センターを公民連携(DBO方式)にて運営開始しています。公民連携によりサービスの向上ができる施設を笠間市は検討していきます。

このように、第4回から第6回において施設の課題解決方法を具体的に紹介してきました。今後、より適正な施設配置計画を策定するため、無作為抽出によるアンケート調査を実施する予定です。ご協力をお願いします。

問 資産経営課(内線 573)

